

いのちと性の大切さ

— 小さいいのちのドアから見えるもの —

日本キリスト教団 瀬戸永泉教会 創立 135 年特別記念講演

☆どなたでも大歓迎です。お気軽にお越しください。(入場無料)

2023 年 10 月 15 日 (日) 【開場 13:00】

会場 日本キリスト教団 瀬戸永泉教会

< Zoom (ウェブ会議) によるオンラインでの講演です。 >

① 講演 13:30~14:30

② 質疑応答 14:30~15:00



マナ助産院 院長 (小さいいのちのドア代表) 永原 郁子

1993 年神戸市北区ひよどり台にてマナ助産院を開業。
自然出産や子育て支援を通して地域母子保健に携わる。
2000 年に性教育グループ「いのち語り隊」を立ち上げ、幼稚園、
小中高校、保護者や教職員に向けて講演を行う。「性を語ることは、
生きることを語ること」という信念のもと、「いのちと性」の大切さを
年間約 150 か所で語る。その活動は注目を集め、TBS テレビ「情熱大陸」
やサン TV「ライフライン」でも取り上げられた。「ティーンズのための命の
ことがわかる本」など執筆活動にも精力的に取り組む。

また、育てられないと悩む女性が 24 時間訪れることが出来る
「小さいいのちのドア」を 2018 年 9 月よりスタート！
神戸市立看護大学臨床教授など助産師の育成にも尽力する。

(小さいいのちのドアへの招き)

Welcome

小さいいのちのドアは、思いがけない妊娠で途方に暮れている女性やもう育てられないと育児で思い悩み、追い詰められた女性のためのドアです。ドアの向こう側には身体を休め、心を癒すことができる場所や小さいいのちを守るための場所があります。24 時間いつでも相談することが出来ます。相談や診察のためのお金はおりません。電話やメール、LINE や来所、どんな方法でも相談できます。助産師や保健師など、母子保健や福祉に関わってきた専門職が対応しています。私たちは思い悩み苦しんでいる女性たちの力になりたい。安心してご相談ください。24 時間、いつでもドアの向こうで待っています。